

新型コロナウイルス感染症拡大の働き方への影響とセーフティーネット

新型コロナウイルスの2020年3月からの感染拡大は、社会・経済活動や企業経営のみならず、私たちの生活や仕事にも深刻な影響を及ぼしています。

当セミナーでは、雇用、失業、就労の3つの面から働き方への影響について、①現状を分析・整理して問題を明らかにし、②問題を解決するために用意されているセーフティーネットについて検証して、③既存の手段ではフォローしきれない問題を解決するための方法を提案します。

全体をとおして、働く人にとってディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を実現するために必要なセーフティーネットについて考えます。



**【参加無料・事前申込要・Zoom聴講も可能】 定員:各回 対面25名(先着順)
Zoom15名(先着順)**

第1回 9月10日(金) 18:30~20:30 講師:椎名 みゆき (社会保険労務士)

エッセンシャルワーカー等の過重労働、メンタル不調など 顕在化する危険とセーフティーネット

コロナ禍で注目されている「エッセンシャルワーカー」ですが、社会に欠かせないと「称えられ」「感謝され」ている一方で、低賃金・長時間労働の状態に置かれている事実を見過ごしてはなりません。同時に、長期化するコロナ禍にあって、雇用・労働環境は大きく変容しており、ストレスや健康不安に悩まされ、メンタルに不調をきたす人が増えている実態もあります。このような中で活用できるセーフティーネットについて考えます。

第2回 9月17日(金) 18:30~20:30 講師:喜多 和美 (司法書士・社会保険労務士)

長期化する失業、女性や若者の失業など 不安定な雇用状況とセーフティーネット

2020年2月から失業者の数が増え続けています。新型コロナウイルス感染症拡大は、雇用にどのような影響を与えているのでしょうか。また、増大する失業者に対して、現在のセーフティーネットは、有効に機能しているのでしょうか。現在の雇用および失業の状況を、性別・年齢別・雇用形態別・産業別に検証して問題を明らかにし、不安定な雇用状況にある人に必要なセーフティーネットについて考えます。

第3回 9月24日(金) 18:30~20:30 講師:白田 一彦 (社会保険労務士)

テレワーク、ギグワーク、兼業・副業など 多様化する就業形態とセーフティーネット

「働き方改革実行計画」のテーマの1つとして、テレワークの普及、兼業・副業の促進が「柔軟な働き方」として示され、その実現に向けた取組が進められてきました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、図らずも、このような働き方が常態として定着しつつあります。また、ギグワークも増加しています。働き方の多様化に伴う課題とそれに対応したセーフティーネットについて考えます。

